

三朝町



みささ 議会だより

第98号 平成27(2015)年 1月号

主な内容…議長・教育長新春対談・議会報告会・12月定例会・
常任委員会・一般質問

はばた
翔け！
未来の創造者
第62回 三朝町成人式

議長・教育長 新春対談 「町内三小学校統合へ！ 三朝町教育新時代へ！！」



○統合方針の策定を終えて

司会) 明けましておめでとうございます。新年を迎え三朝町教育について、お二人にそれぞれの立場から思いや考えをお聞かせいただきたいと思います。

議長) 町民のみなさん明けましておめでとうございます。色々なところで変革が起こっており、わが町の教育変革の曲がり角に来たと理解しています。

本町においてこれから素晴らしい教育が進められていくものと期待しております。

教育長) 明けましておめでとうございます。昨年はいろいろお世話になりましたが、特に年末に三朝町の小学校統合について3校同時統合の方向で町長に報告し、議会に説明したところです。

小学校統合は重要な課題はありますが、一つの方向性を示せたのではないかと喜んでいます。

これからは具体的な準備作業に入っていきますが、町民の皆さんのご協力を得て気を引き締めて進めていきたいと思います。

司会) 教育委員会が3校同時統合の方針を出されたことについて、議長はどのように感じておられるのかお聞かせください。

議長) もう少し早くとの思いもありますが、諸状況を勘案して賢明な判断をされたと感じております。



○統合方針策定の経過

司会) 教育委員会は、この度町内小学校の3校同時統合の方針

を出されました。平成25年に教育委員会は、西小学校と南小学校の2校統合案を提出しておりましたが、今回3校同時統合に意見集約された経緯等について教育長お聞かせください。

教育長) 平成25年3月、東小が特色ある素晴らしい教育活動を展開しており、これを継続して欲しいとの保護者・地域の意向に配慮し、西小学校と南小学校の2校統合が望ましいとして、東小学校の統合は引き続き検討するとの報告をし、種々調査等を進めました。その後、みささこども園の開園、東小校区未就学児の西小校区への転出事例などの状況変化、保護者アンケート結果などから議論を重ね、各校の特色ある教育の継続を保障することとして、3校同時統合の方針としました。

○目指す統合後の三朝町教育

司会) 3校統合は三朝町教育のスタートで、子どもたちにとって最良の教育環境整備でもあり、新たな教育の取り組みの可能性などが期待されます。

今回の方針決定により目指す教育、期待される教育について教育長の思いをお聞かせください。

教育長) 統合によって競争力の向上、多様な意見を聞く環境作り、人間関係の固定化解消、集

団教育の実施などを目指したい
と思います。新しい小学校が目
指す教育は次のような内容です。

◎知・徳・体の調和のとれた
子どもを育てる教育

◎郷土に学び、郷土を誇れる
子どもを育てる教育

◎子どもの実態に応じた、多
様な学びを保障する教育

◎生き生きと学び、自分で考
え、判断し、行動できる子
どもを育てる教育

この4つの柱を大事にして日本
で三朝町にしかないオンリーワン
の素晴らしい学校を目指さなけれ
ばならないと思っています。



司会) この度、3校同時統合の
方向が決まったので、議長は統
合後にどのような教育が始まる
ことを期待しておられるのか、
注文も含めてお聞かせください。

議長) 統合後は各小学校が持つ
ていた教育目標が一本化され、
4つの柱のもとに全町一区の子
どもが育つ教育が始まることを
期待しています。

統合に当たっては通学問題、
学童保育問題をしっかりフォ
ローしていかなければならな
いし、次に廃校の利用策や地域の
活力維持も大事になってくる
と思っています。

10年後は小中一貫教育がメイ
ンになってくると思うのでそれ
によって次代を担う優秀な児童
が育ってくることを期待します。

○統合への課題

司会) 統合が実施されることに
なれば多く課題があると思いま
す。新しい学校はどこにするの
か、新しい校舎を作るのか、教
室は足りるのか、校名・校章・
校歌はどうするのかや、特に大
きな課題は通学方法、学童保育
だと思います。

これらの問題について教育長
はどのように思っておられるの
かお聞かせください。

教育長) 統合後の新しい小学校
をどうするかが大きな問題です。
今ある小学校を利用する、新し
く校舎を建設する等、色々な考
え方があるのでこれから設置す
る統合検討委員会で色々な意見
を伺いながら方向性を出してい
きたいと思います。

保護者の関心が一番高かった
のは通学方法と保護者負担の問
題であり、特に低学年や特別支
援の児童の遠距離通学の安全確
保が必要です。

また、学童保育、スポーツ少
年団活動の在り方、各校が実践
してきた地域住民と連携した教
育の保障なども大事にしなければ
なりません。

さらには平成30年の統合実施
までに各小学校同士の連携も進
めなければなりません。統合後
の空き校舎の利活用策の検討も
重要であります。

司会) 統合実施にあたっては課
題山積で議長も気にしておられ
ると思いますが。

議長) 統合に向けて重要なのは
統合検討委員会の役割だと思
います。人選をしっかりやって
いただきたい。

統合までの3年余り同じ人ば
かりでなく任期を設けて、なる

べく多くの人に関わってもらい、
大きなテーマごとに小委員会を
設けるなど良いものを設置して
ください。

○今後の取り組み

司会) 町外の統合事例なども研
究されたと思いますが、統合の
方針は決まったので今後はどの
ようなスケジュールで統合準備
を進めるのが重要になってき
ます。

現時点でどのようなことを想定
しているのかお聞かせください。

教育長) 先ず最初に保護者や地域
協議会などの各校区関係者に今回
の方針決定を丁寧に説明しなけれ
ばならないと考えています。

議会におかれても今回の方針
決定についてご理解をいただき
たい。今後は設置者である町長
の判断を待つことになります。

議長) 小学校統合はゴールでな
くて新しい三朝町初等教育のス
タートです。

司会) 「教育受けるなら三朝で」
と言われるオンリーワンの内容
ある小学校作りを目指していただ
きたい。



〔司会〕

山口 博 議会広報常任委員長

〔写真〕

清水成真 議会広報常任委員

議 会 報 告 会

今般、9月定例議会（主に決算関係）を受けての議会報告会を計画したところ、三朝・賀茂・三徳の各地区に於いて開催することができました。他の小鹿・高勢・竹田の三地区とは日程調整がつかず開催の運びに至らなかったことを、まずもって、ここにお詫び申し上げます。

なお、今回は、この報告会に於いて住民の方々から出された意見・要望等をそのまま掲載したいと思います。



農業関係

- *議会は三朝町の農業生産量・生産額を把握しているか（みささ）
- *三朝町がどの方向を目指していくのか、生産額は（みささ）
- *三朝米のブランド化はどんなことをしているのか（賀茂）
- *三朝米はきぬむすめとコシヒカリか（賀茂）
- *ブランドの指定についてもよく研究して（賀茂）
- *ブランド化は儲かるためだと思うが販路はどう開拓するのか（賀茂）
- *農家に食味会、ブランド化等の案内が不十分、農事組合を通じて連絡できないか（賀茂）

ふるさと納税関係

- *寄付金の額はどのくらいか、ふるさと応援基金として積み立てるのか（みささ）
- *使い道は自由か（みささ）
- *ふるさと応援基金の中身が分かりにくい（賀茂）
- *ふるさと納税のお礼に農業関係の物も入れるべきだ（賀茂）



三徳山・千軒原の使用関係

- *千軒原に防災ヘリが着陸出来なかったとのこと（みささ）
- *町としての対応は？議会も解決に向けてプッシュせよ（みささ）
- *客を案内してウォーキングセンターが使えず恥をかいた（みささ）
- *防災ヘリは何で降りなかったのか（賀茂）
- *合谷との折り合いをうまくやってもらいたい（賀茂）
- *千軒原に防災ヘリが着陸出来なかったとのこと、合谷との関係は（三徳）

ブランナール関係

- *ブランナールの2億円は売り上げか、現状は（みささ）
- *売り上げの経緯が知りたい（みささ）
- *耐震工事は済んでいるのか（みささ）
- *ブランナールの方向性・線引きが必要ではないか（賀茂）
- *職員についても、本当に優秀な人を選べ（賀茂）
- *営業努力で黒字を出せ（賀茂）
- *毎年5千万円支援しているがいつまでこのような状態を続けていくのか（三徳）



永楽庵跡地利用関係

- *跡地利用の計画はどのようなものか（みささ）
- *当初の予定だと色々計画されていたようだが（賀茂）



その他

- *町税の徴収率、未収額は（三徳）
- *今後とも単独町政で行くのは問題があるのか、ないのか、財政面・体力面は（三徳）
- *防災マップはきちんとしているか、作り直す必要があるのでは（賀茂）
- *AEDの使用について、講習が必要ではないか（賀茂）

意見交換

- *議会報告会の結果をネットで公表してはどうか（みささ）
- *常任委員会報告の部分で質問している委員の名前は出せないか（賀茂）
- *議員報酬を上げるような考えはないか（みささ）
- *正善院に関する予算審議以来議会が何か変だ、町民は失望している（みささ）
- *議会は町を良くする方向で考えて欲しい、大局的な視点が必要だ（みささ）
- *町執行部の管理職は積極的に町外研修へ出掛けよ（みささ）
- *40年県外で生活してきたが、ふる里は素晴らしい、残さなければ（三徳）
- *小学校統合は早晚しなければならない、子どものふるさとの意識がどうなるか心配だ、地元に残るような教育が必要だ（三徳）
- *開湯850年祭事業の取り組みが一般町民に周知されていない（三徳）
- *自然を活用した観光の推進が必要、田圃アートなどはどうか（三徳）
- *三朝町は山や田の資源活用を考えるべきだ（三徳）
- *ゴルフ場はどうなるのか（賀茂）
- *賀茂地区の拠点施設はどうなるのか（賀茂）

常任委員会で 慎重審議

委員会における主な質疑

産業民生常任委員会

観光誘導塔設置へ

農林課

農地中間管理事業 (補正482万円)

(委員) 農地中間管理事業・経営
転換協力金の意味がわからな
いが、リタイアする農家へ払
うのか、止める農家か。趣旨は。

(回答) 目的は担い手への集積。
農地をまとめて出していただ
く事のきっかけ料という意味
だと思います。担い手からす
ると少しずつより、まとめて
出していただく方が計画を立
てやすい。まとめて農地を貸
し出して貰うための踏ん切り
料的な意味もあります。

建設水道課

河川維持管理補修事業 (補正99万円)

(委員) これは管理費が増額と
なったのか、新規で大瀬尻谷
川を工事するのか。

(回答) 当初予算で工事を施工
し、底張りなどをしたが、上
流側の石積みなどから水が流
れてきた。宅地の崖部分にも
なるので、安全の為に継続し
て工事を行うものです。

企画観光課

三朝温泉街観光誘導塔設置 事業 (補正290万円)

(委員) 増額となる理由は、電照
の部分が当初の予定には無
かったのか。

(回答) 設置位置の変更に伴う増
工及び、夜間誘導を考慮し、
照明をあてる為の電気設備の
増工です。

ブランナールみささ

民間活力導入の検討状況 (運営権制度・指定管理者制度の導入)

(委員) この経営改革方針は年限
を切らずにするのか。ブラン
ナールの経営改善と今後の方
向性は両輪になると思うが。

(回答) 予定では、もう少し制度を
勉強し、この制度の導入が可能
かどうかという本格的な調査に
入りたい。早ければ来年度には、
何らかの結論、方向性が出せ
たらと思っています。

総務教育常任委員会

デジタル無線 平成28年度に供用開始へ！

危機管理課

デジタル防災無線

(委員) デジタルについて9億
6千万円の次年度繰り越しだ
が、請負金額は6億円ではな
かったのか？

(回答) 入札条件として最大延長

工期（平成28年3月）を設定
しており、今回の提案で工期
延長するものです。金額につ
いては、予算額（9億6千万
円）を全額繰り越しするもの
です。

(委員) 予算枠での繰り越しでは
なく、契約額で繰り越しする
べきではないのか？3億の増
額はあるのか？

(回答) 工事を増額する場合は、
必ず議会の議決が必要です。
9億6千万円はあくまでも予
算の枠です。

(委員) 9億6千万円を超えるこ
とはあるのか？その場合は補
正するのか？

(回答) 制度上繰り越し予算の補
正はありません。仮にそう
なった場合は新年度で予算を
組むことになります。

三朝町いじめ問題調査委員会 等設置条例の設定について

(委員) いじめ問題調査委員会の
ほうが、いじめ問題検証委員
会より内容が濃いそうだが？

(回答) たいていの場合はいじめ
問題調査委員会で調査、審議
となるが、次の申し出の場が、
町長部局のいじめ問題検証委
員会ということになります。

三朝町の活性化

問 三朝温泉をどのように活性化していくのか

答 泉質の良さ・治療効果・療養効果を発信していきたい

○イベントの効果

池田

三朝温泉開湯850年と銘打ってさまざまなイベントを行って誘客活動を行ってきたが、町民から聞こえてくるのは否定的・批判的な声が大多数である。町はいま一度原点に立ち返って、三朝温泉の発展的活性化策を考え直すべきではないか。

町長

三朝温泉は、その長い歴史の中で、治療効果や療養効果の高い温泉として、常に人々の心と体を癒し続けて、多くの皆さんに親しまれてきた温泉地である。今回この歴史が850年を迎えたことを契機に、さまざまな記念事業に取り組んでいるところである。記念事業では、三朝温泉の原点に立ち返り、他に類を見ない特徴的な泉質の良さにこだわりを持ちながら広く情報発信していくことによって、わざわざ足を運んでいただく温泉地として今後も発展させていくことが重要であると考えている。

記念事業については、その取り組みが一過性のものにならないように、事業内容や実施体制、協力体制も含めて、将来につながる仕組みとなるよう、検証を行いながら進めている。

○17年の吉田町政

池田

吉田町長が就任されて17年が過ぎた。人口は8,313人から6,881

人へ、旅館の数は33軒から24軒へ、企業数は350から250へ、観光客は50万人から40万人へ、つまり負の遺産が着実に増え続けてきたと言っても過言ではない状況を生み出してきた訳ですが、町民は昨年の選挙において吉田町長を選んだ。町長はこれを「あと4年間、このペースでおやりなさい」と町民が後押ししてくれたと捉えられたのか。

私は、町長はこの4年間で、図らずも生じてしまったこれら負の遺産の解消に向けて心血を注がれるものと信じて疑わないところである。また、吉田町長を支持した多くの町民も固くそれを信じて一票を投じたものであると思う。町長はそういった町民の負託を受けておられることは百も承知であると思うが、改めてその決意のほどを伺いたい。

町長

バブルの絶頂期と言われた当時と比べて、経済や社会情勢の変化に伴って、人口や旅館数など、それぞれの動向は残念ながら減少傾向を示していることも承知している。しかし、現在でも、三朝温泉には毎日およそ1,000人の宿泊客にお越しいただいている。このお客様を今後どのように町づくりに結びつけていくかが鍵となってくると思う。交流人口、毎日1,000人來町のまち、三朝町、三朝温泉、これは非常に大きなインパクトを与えていくのではないかと。

今後も観光業にかかわる皆さんだけでなく町民の皆さんとともに、三朝温泉の活性化を図って



池田雅俊議員

いくことによって、町全体の振興と魅力ある町づくりにつなげていきたいと考えている。

○国立公園三徳山・ほっとプラ座をどう活かす

池田

国立公園になった三徳山、新しい観光拠点施設ほっとプラ座を今後どのように活かし、観光発展につなげていくのか。

アドバイザーやPR大使といったプロの力を借りて、三朝をアピールできる体制を構築すべきではないか。

町長

町では、小鹿溪も含めた三徳山周辺の活用策と周辺環境の整備について検討していくことを目的に、検討委員会を立ち上げている。

ほっとプラ座についても、より親しまれ、よりご利用いただけるよう施設はもとより、機能の充実に向けて対応していきたい。

テレビ番組での全国放送によるPR効果には即効性があることを先般の放映で改めて感じた。機会があれば利用したい。一方で口コミによる宣伝効果にも期待したい。

活性化

問 継続的な三朝温泉の活性化策を

答 磨きをかけて魅力的な温泉観光地へ

○三朝温泉低迷の原因は

山口

三朝温泉の入り客低迷は社会構造の変化、価値観の変化等々種々の原因が考えられますが、町長はこの現状とその原因をどのように把握し、分析しておられるのかお聞きします。

これまで町当局はもとより関係者が種々の対策を講じてこられたことと思いますが、残念ながら右肩下りの長期低落の状況が続き、現状のようになっていることは有効な手が打てなかった結果と言わざるを得ません。

三朝温泉を再び昔のように元気にするために、町長は現状をどのように打破していこうと考えておられるのか伺います。

○継続的な事業展開と人材活用を

山口

これまで三朝町で取り組んできた事業はキュリー祭、花湯祭を除けば、一発勝負的なものが多かったことは否めず、息の長い継続的な事業を設定することが不可欠であります。

地域おこしの成功事例を見るとき「若者・ばか者・よそ者」の活躍が大きく関わっています。多様な人材を集めて、多様な発想、視点から三朝町・三朝温泉活性化を話し合い、意見やその対策を提言、実行する組織を作ってはどうでしょうか。

また、近年近隣諸国の外国人入り客も増加しているので、さらなる誘客につながる新たな近隣諸国の姉妹縁組締結先を模索することも検討されたい。

○特長を生かして魅力ある観光地へ

町長

三朝温泉の入り客低迷の原因

は、経済状況、社会情勢の変化により、宴会型の団体旅行から個人旅行へと旅行形態が変化し、温泉観光地に対するニーズが多様化して減少したと考えております。活性化に向けて三朝温泉ならではの魅力を磨き上げ、自然環境を含めた三朝温泉の特長ある泉質を生かして魅力的な温泉観光地にしていくことが必要と考えています。

新たな近隣諸国との姉妹縁組締結については誘客につながることを基本に検討して参ります。

山口

町長は11月開催の温泉ライダーを今後も続けたいと聞いています。

町長

今回県と共同で開催したが継続の方向で県と調整したいと思っています。

山口

オリンピック種目になっている



山口 博議員

自転車クロスカンントリーやダウンヒルなどを町内の林道を利用して毎年開催することで自転車競技の聖地に発展できたらと思います。

山口

アドバイザーの活用等で三朝温泉は優れた温泉や自然環境を活用し本来の保養温泉としての価値を高めていくことが必要と思います。

町長

大いに検討を深めていきたい。

夢議会

問 中学生ふるさと議会の開催を

答 中学生の意見や要望を聞く機会を検討

○議会を愛郷心、愛国心の醸成に

山口

私は、「子ども夢議会」の経験を踏まえ、さらに一歩進めて三朝中学校生徒による「中学生ふるさと議会」（仮称）の開催を提案します。

中学生たちは小学生とは違った目線で自分の住む町について考え、提言してくれるのではないのでしょうか。

自分のふる里を改めて見直すことで教育基本法が目標とする愛郷心、愛国心の醸成につながるものと考えます。開催については是非検討されたい。

○中学生の意見や要望を聞く機会を

教育長

子ども夢議会は子どもたちが自分の住むふる里に目を向ける大切な学習機会であり、継続していきたい。

中学生のふるさと議会の開催については公民の授業時期の関係から問題があり、すぐ開催することは難しいが、中学生の意見や要望を聞く機会を設けることは今後考えたい。

山口

他町で中学生が議会を傍聴している例もあるのでそういう機会をぜひ作ってほしい。

地方創生

問 総合戦略の重点施策は

答 本町に即した産業振興策や地域活性化策を示したい

○重点施策の方向は

平井

地方の人口減少問題が内政の重要課題として、国は重点施策と位置づけ、国会は地方創生関連の法案、まち・ひと・しごと創生法案と改正地域再生法案を可決した。

人口減少対策や経済活性化は地域ごとに問題点は異なるが、地方創生関連の法案で、地方にとって、まち・ひと・しごと創生法案が重要な位置づけになるのではないかな。

特に地方公共団体の責務に、地方公共団体の区域の実情に応じた自主的な施策を策定し、実施する責務を有すると定められており、市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略について基本的な計画を定めるよう努めなければならないとある。

町長は本町のまち・ひと・しごと創生に関する目標と施策に関する基本的方向を検討されると思うが、創生法は2015年から5年間、総合戦略を策定することとある。この総合戦略は本町の将来にとって重要な位置づけとなると思うが、今後計画を立案されるのか、また、重点施策をどのように捉えているのか町長に伺う。

○施策はそれぞれの観点で

町長

人口減少の克服や地域経済の活性化を基本理念とする今回のまち・ひと・しごと創生法の成立は、中山間地域ならではの多くの課題や悩みを持つ本町にとっても、新たな展望を開くものと大いに期待している。

法では、計画の策定は努力義務とされているが、全国それぞれの地方の自治体が置かれている条件や状況、地域が誇るべき資源等はさまざまであることから、真の地方創生に臨んでいくためには、本町の実情を踏まえながら自らが取り組むべき施策とその具体的な実行策を企画し、積極的に取り組んでいくことが大事であると思う。計画策定に向けては専門チームを立ち上げ取り組んでまいりたい。

地方における一番重要な課題は、人口減少にきちんと対応できる社会の構築と人口減少に何とか歯止めをかける施策の展開であると思う。本町においても、実態に即した対策を講じることによって、この難問を解決できる糸口を見つかることができると思う。

まずは人口の推移や人口構成の動向、産業構造などのデータを再度整理、分析したうえで、将来の姿や課題をより明確に把握しながら、本町に即した産業振興策や地域活性化策の方向を示



平井満博議員

.....
していきたい。

なお、具体的な計画策定の時期については、平成27年度の策定を予定している。

現時点で考えている主要な項目としては、まち・ひと・しごとの観点から申し上げると、まちでは地域の自主的な取り組みへの支援であるとか、きめ細かい福祉サービスの充実、情報の格差是正、安心・安全な町づくり、自然と文化を生かした町づくりなどの施策展開が必要であると考えている。

ひとの観点では、総合的にきめ細かな子ども・子育て支援、移住定住者への支援、交流人口の増加対策に取り組む必要があると考えている。

しごとの観点では、観光と農業を始めとする地域産業の振興、雇用の創出が重要な主なテーマになってくるものと考えている。

今回の地方創生への取り組みに当たっては、小規模ながらも単独を選択した本町であるからこそできるきめ細やかなサービスを充実させていくことによって、持続可能な町へと展開していくことが必要であると思う。

三朝町の明日に期待

フランス 交流施設

問 三朝にフランス交流施設をつくっては

答 当面検討したい

福田

三朝にフランスとの交流施設をつくるべきではないか。

町長

本町では三朝町が施行される前の昭和26年に第一回のキュリー祭が行われ、以降ラジウム温泉の恩恵とラジウムの発見者であるマリー・キュリー博士の遺徳に感謝

する祭典として60年を超える歴史があります。またこのことが、南フランスの温泉地ラマル・レ・バン町との24年に及ぶ友好の礎となっています。

議員提案の交流施設につきましては、温泉の利用を促進するものなのか、展示方法なのか、当面検討してまいりたい。



福田茂樹議員

小学校

問 町内小学校の今後のあり方

答 平成30年までに3校同時統合をしたい

福田

三朝町教育委員会が検討された、町内小学校の今後のあり方について伺う。

教育委員長

町内の小学校の統合問題につきましては、町の人口減少とともに本町の児童数の減少も進み、子どもたちの教育への影響も懸念されることから、平成18年頃から検討

しております。

その結果、平成25年3月に平成30年までに南小と西小を統合することが望ましいとしたうえで、東小学校については引き続き検討する、としていました。教育委員会は、早速、南小と西小の2校統合へ向けて研修等を行いました。その後、みささこども園の開園や東小校区の未就学児保護者の一部が子どもを西小に入学させるため

校区外に転出される事例が生じました。

そこで平成26年7月に改めて東小学校の保護者等のアンケート調査を実施。また、三徳、小鹿地域協議会の村づくり懇談会において、小学校統合のあり方について、意見交換会を行いました。

教育委員会の結論としましては、平成30年までに3校による同時統合による新小学校の設置が望ましい。そして、仮称小学校統合準備委員会を平成27年度の早い時期に設置し、統合に向けて準備を進めてまいりたい。

の高 福祉者

問 中の谷の高齢者福祉の検討結果はいかに

答 現状では高齢者の方の交通手段はそう不便さは少ない

福田

6月定例会に一般質問をした、中の谷の高齢者の福祉の充実の検討結果はどうなったのか伺う。

町長

議員提案の新しい交通体系ということでありますが、まず実情

を申し上げますと、中の谷、鉛山から本泉までの14集落は65歳以上の高齢者は420人、要支援、要介護の認定者数は87人。その中の谷の高齢者420人のうち高齢者世帯、独居高齢者世帯は157人、65歳以下の家族と同居しておられる方が263人です。色々と調べた結果、

中の谷の通院者で路線バス以外の交通手段に困っておられる方は少数であります。議員からご提案いただいた巡回バスの運行は厳しいかと思います。

現状は現状として、今後、地方創生の中でこの高齢者の生活支援ということの一つの大きなメニューとしてつくり上げることにについても検討を加え、別途の検討事項として協議してまいりたい。

農業対策

問 遊休農地にシャクヤクの栽培をしたらどうか？

答 シャクヤクの栽培を含め、生薬の栽培を普及していく方向で検討したい。

○農業の経営状況は…。

清水

三朝町における農業全般、果樹、畜産も含めてであります。その経営状態についてお聞かせください。

町長

米は、平成26年産米は天候の影響による不作と米価の下落、経営所得安定対策における米の交付金の削減などが重なり大変苦しい収支となっている。三朝神倉大豆は、平成26年産では18ヘクタールまで栽培面積が増えた。生産される豆の品質について、農家間のばらつきが課題となっているが、収支については安定している。

果樹は、梨は従来から農協への出荷が中心であり、他産地の市況や災害の影響を受けやすく、不安定な経営が続いている。リンゴは面積こそ減少しているが、おいしい保ケ平のリンゴとして根強い

ファンがあり、直売所への出荷が維持されている状況。

畜産は、肥育、酪農、繁殖和牛などがあるが、いずれも円安の影響を受け購入飼料や資材が高騰し、経営費を押し上げ、経営的には厳しい状況。

○三朝町独自の農業対策を提案…。

清水

第1段階として、一つ一つ小さな農家をグループ化すれば、お互い役割を補完し合って力強い農業ができる。第2段階は、集まってきたグループや農業法人が新しいことにチャレンジする仕掛けをつくる。第3段階は、このようなグループや体勢に対してより厚くお金を投入していく。3段階の支援を提案したい。

町長

町内の集落の農家の実態は様々で、担い手やリーダーのいない集



清水成眞議員

落においては支援の成果が上がりにくい状況にあることから、大きな枠組みの中で新たな支援体制を検討する必要があると感じている。

○遊休農地にシャクヤクを栽培したらどうか…。

清水

遊休荒廃農地対策としてシャクヤクを生産してはどうか？

町長

生薬の栽培は、今後農地の有効な活用方法となる可能性もあることから、町としてシャクヤクを含めて薬用作物全般について情報を収集してまいりたいと考えている。

小学校統合

問 どのような学校を目指すか？

答 単なる小学校の寄せ集めではなく、新しい教育理念のもとに三朝町らしい学校づくりが必要であると考えている

○教育委員会の方針は…。

清水

12月上旬に教育委員会は町長に2校統合なのか3校統合なのかを報告するということでありました。どのような結論になったのか？

教育長

平成30年までの西小と南小の統合に東小も合わせ3校同時統合による新小学校の設置が望ましいという結論に至った。

○これまでの経緯は…。

清水

3校同時統合に至った判断は？

教育長

現状の児童数が横ばいまたは減少することが予想される中で、子どもたちの自主自立を促す学校教育を目指していくためには、子ども同士の良い意味での競争力の向上、多様な意見を聞くことができる教育環境づくり、人間関係の固定化の解消、集団教育の確保のためにも統合による一定以上の児童数の確保が必要と判断した。

○課題は…。

清水

統合準備委員会では、どのような内容が協議されるか？

教育長

学校の場所や施設の内容、通学方法や放課後学童クラブのあり方、地域と連携した教育の進め方などを中心に協議をしていく予定。

○統合後の学校はどうするか…。

清水

廃校となった学校の再利用は、どうするか。

教育長

教育施設としての捉え方だけではなく、地域の活性化につながるような幅広い利用方法も検討しながら、効果的な活用について地域協議会をはじめとする関係団体や地域の皆様と協議をしていく。

【議案に対する賛否】

議案番号	町 長 提 出 議 案 名	結果
(11月臨時議会)		
85	専決処分の承認について (平成26年度三朝町一般会計補正予算(第5号))	可決
86	平成26年度三朝町一般会計補正予算(第6号)	可決
87	平成26年度三朝町水道事業会計補正予算(第4号)	可決
88	三朝町職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
89	工事請負契約の締結について(多目的駐車場整備工事)	可決
(12月定例会)		
90	平成26年度三朝町一般会計補正予算(第7号)	可決
91	平成26年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
92	平成26年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決
93	平成26年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
94	平成26年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算(第1号)	可決
95	平成26年度三朝町水道事業会計補正予算(第5号)	可決
96	三朝町いじめ問題調査委員会等設置条例の設定について	可決
97	三朝町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について	可決
98	三朝町新型インフルエンザ等対策本部設置条例の設定について	可決
99	三朝町国民健康保険条例の一部改正について	可決
100	三朝町心身障害者医療費助成条例の一部改正について	可決
101	鳥取中部ふるさと広域連合規約を変更する協議について	可決
102	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について(三朝町防災行政無線デジタル化整備工事)	可決
103	平成26年度三朝町一般会計補正予算(第8号)	可決
104	三朝町長等の給与及び旅費に関する条例及び三朝町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	可決
議 員 提 出 議 案 名		
議7	三朝町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決

※上記の議案はいずれも全会一致で可決

【陳情】 12月定例会の陳情に対する審査結果です。

件 名	提 出 者	審査結果	審 査 意 見
「治安維持法犠牲者国家賠償法」の制定を求める意見書提出の陳情	治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟鳥取県本部	趣旨採択	陳情の趣旨は理解できる。

シリーズ

町民登壇 ～私の思い～



高勢地域協議会会長

小 椋 伸 夫

○めずらしかった体育館付き公民館

中の谷の奥部9集落からなる高勢地域は、わずか107戸の小さな地域です。少子高齢化はどんどん進み、中学生以下の子どもは20人足らずです。いま、町内で問題になっている小学校の統合問題も、ここ高勢では50年前に先人たちにより取り組まれました。その結果として、小学校跡地に、当時としてはめずらしかった体育館付きの公民館が完成したのです。

○50回目を迎える地区運動会

これを機に始まった高勢まつりは毎年行われ、昨年40回を数えました。また、統合と同時に始まった地区の運動会も、今年50回を迎えることになりました。どちらの行事も始まったころには多かった地区民も、いまや二百数十人になり、このまま続けることができるのか不安です。

○地域を発展させる方法は

人が少なく高齢者の多い地域を発展させるよい方法があればと考えているところです。いまの交付金で元気な地域ができるのでしょうか。やはり、以前のように役場職員が出向く方法は無理なのでしょうか。みなさまのお知恵をお借りしたいものです。

おむこう
ちやうとむこう

町民の皆さん、あけましておめでとうございます。今年が町民の皆さんにとって素晴らしい一年になることをお祈りします。

私たち議員は改選後二回目の正月を迎え、心新たに三朝町の元氣化へ全力で取り組みます。

アベノミクス効果がまだまだ実感できないわが町ですが、安倍政権が進める地方創生元年の今年、わが三朝町からも熱い思いを結集して大いに発信していきたいものです。

この議会だよりを通して町民の皆さんの議会に対するご意見、叱咤をいただいて議会活動へ反映し、議会と町民の皆さんと一層緊密につながりたいと思います。

(山口 博記)

発行責任者

議長

山田 道治

編集

議会広報常任委員会

委員長

山口 博

副委員長

池田 雅俊

委員

福田 茂樹

委員

清水 成真

委員

能見 貞明